

2021 年 スミセイ コミュニティスポーツ 推進助成プログラム

応募要項

～コミュニティスポーツによる
健やかな暮らしと文化の醸成～

チャレンジコース: 50万円まで

アドバンスコース: 300万円まで
(助成期間2年間合計)



住友生命健康財団では、2010年に財団設立25周年を記念し、「スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」を開始しました。私たちは、コミュニティスポーツを「地域において様々な人々が、楽しみながら参加・交流し、スポーツを通じて一人ひとりの健やかな暮らしの実現をめざす取り組み」と捉えています。本プログラムでは、スポーツを楽しむ文化が地域に根付き、社会の新しい価値を創り出すような取り組みを応援します。コミュニティスポーツにかかわる全国の皆さまからのご応募をお待ちしています。

応募受付期間 2021年8月23日(月)～9月22日(水) 必着

公益財団法人 住友生命健康財団

住友生命健康財団

検索

<https://skzaidan.or.jp/>

2021 年 スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム 応募要項

～コミュニティスポーツによる健やかな暮らしと文化の醸成～

応募受付期間 2021 年 8 月 23 日（月）～ 9 月 22 日（水）必着

助成対象プロジェクト

助成の対象となるプロジェクトの枠組みは、次の 2 種類です。

【一般】地域の中で一人ひとりの健やかな暮らしの実現につながるコミュニティスポーツ

【特定】心身の障がいや長期療養などにより社会参加が困難な状況にある人と共に楽しめるコミュニティスポーツ

<助成対象プロジェクトの例>

- ・地域の資源（人材、自然、施設など）を活かした取り組み
- ・障がい、長期療養、セクシャルマイノリティ、外国にルーツを持つ当事者や家族も共に楽しめる取り組み
- ・多世代がともに楽しめる取り組み
- ・将来世代にわたって受け継がれるようなスポーツの価値を活かした取り組み（国際的なスポーツ大会から生まれた市民活動や、地域の伝統とスポーツの融合など）
- ・新たな視点や工夫を取り入れるなど独自性のある取り組み

* 助成対象プロジェクトには、実践に必要な調査・研究、およびプロジェクトの評価やその普及・発展のための「実践研究」も含まれます。但し、実践を伴わない研究は含みません。
* 応募は、1 団体につき 1 プロジェクトとします。

助成の対象となる団体

以下の要件を満たすものとします。

- 日本国内に活動拠点のある民間の非営利団体（法人格の種類や有無を問わない）で、団体としての活動実績があること。
* アドバンスコースでは原則として応募時点で 2 年以上の活動実績があること。
- 団体の目的や活動が政治・宗教などに偏っておらず、反社会的勢力とは一切関わっていないこと。

* 助成対象となる団体は、スポーツ分野を専門とする団体に限りません。なお、個人は対象になりません。

助成種別

助成対象プロジェクトは、取り組みの視点によって、次の 2 種類に分けられます。

【チャレンジコース】

地域におけるコミュニティスポーツのチャレンジと、その後の自立・発展をめざすもの

- ・助成期間 2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日（1 年間）
- ・助成金額 50 万円以下（1 年間分） 15 件程度

* コミュニティスポーツのチャレンジとその自立・発展に必要な場合には連続して応募することも可能です。（2 年間で上限とします）

【アドバンスコース】

地域を超えたコミュニティスポーツの展開や、特定の地域におけるコミュニティスポーツの深化をめざすもの

- ・助成期間 2022 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日（2 年間）
- ・助成金額 300 万円以下（2 年間合計） 5 件程度

* 2 年目の助成については、初年度の活動の進捗に問題がないこと、並びに、該当年度の当財団における予算承認が完了することが条件となります。

助成金の使途

プロジェクトに関わる費用であって、下記を想定していますが、必要なものはこれ以外も可とします。

旅費交通費	：交通費、宿泊費など
謝金	：コーチ謝金、講師料など
会議費	：会場代、会議配布資料のコピー代など
賃借料	：体育施設賃借料、コート賃借料など
機材・備品費	：スポーツ用具代（1 点 30 万円以内）
広報・通信費	：広報・情報発信のための通信費、送料など
印刷費	：チラシなどのデザイン料、印刷代など
消耗品費	：文具等の購入費など
事務局人件費	：プロジェクトに関わる事務局スタッフの人件費、アルバイト代など
事務局諸経費	：事務所の光熱水費、家賃などでプロジェクトに関わる部分としての按分額

応募方法

応募用紙に必要事項を記入した応募企画書を作成のうえ、9 月 22 日（水）必着で、下部の「応募先」に電子メール、あるいは簡易書留・宅配便などの配達記録の残る手段でお送りください。

- * 持参・FAX での応募は受け付けません。応募書類は返却いたしませんので、必ず控えを保管ください。
- * 応募いただいた団体へは、事務局よりメールまたは郵送で受付通知をお送りします。10 月 8 日（金）までに通知がない場合は、お電話で事務局までお問合せ下さい。
- * 応募企画書に記載の個人情報は、「公益財団法人住友生命健康財団の個人情報保護に関する基本方針」を遵守し、適切に管理します。

<応募用紙の入手方法>

【チャレンジコース】と【アドバンスコース】では応募用紙が異なります。各応募用紙は住友生命健康財団のホームページよりダウンロードしてください。郵送をご希望の場合は、お問い合わせください。

選考方法

財団が委嘱する学識経験者・実践者・財団関係者で構成する選考委員会において、選考の視点に基づき選考します。アドバンスコースについては、提出された応募企画書による選考の他、ヒアリングを行う場合があります。

<選考の視点>

- ①さまざまな人たちが参加し、地域に根ざした活動であること
- ②意欲的で新たな取り組みであること
- ③企画内容（方法、体制、予算など）が目的に照らして十分に検討されており、民間が助成する活動にふさわしいこと

（以下はアドバンスコースのみの選考の視点）

- ④多様な関係者との協力・連携がはかれ、実施可能なマネジメント体制が整っていること
- ⑤他の地域への波及効果やコミュニティスポーツの深まりが期待できること

<住友生命健康財団ホームページ>

助成先取組状況<コミュニティスポーツの現場から>、助成 10 周年冊子<スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム 10 年の軌跡>もご覧いただけます。

住友生命健康財団 検索

<https://skzaidan.or.jp/>



なお、このプログラムは、特定非営利活動法人 市民社会創造ファンドの企画・運営協力の元を実施します。

選考結果

選考結果は 2022 年 2 月末までに全応募者宛に郵送にて通知します。なお、選後総評、助成対象一覧（プロジェクト名、団体名、代表者名、助成金額を記載）、推薦理由などの選考内容は、住友生命健康財団のホームページ、メディア等へのリリースにて公表します。

助成決定後の手続きなど

①助成手続き

助成に関する覚書を締結し、助成を開始します。

②助成金の支払い

2022 年 3 月末日までに助成金（全額）を団体名義の銀行口座に振り込みます。
アドバンスコースは、1 年目の助成金を 2022 年 3 月末日までに、2 年目の助成金を 2023 年 3 月末日までに振り込みます。

③報告書の提出

半年毎に中間報告書を、助成期間終了後 1 カ月以内に完了報告書を提出いただきます。

④表彰式等への参加

表彰式や報告会を開催する場合は、ご参加いただきます。



<応募先・お問い合わせ先>

公益財団法人住友生命健康財団 事務局

（担当：中島・太田）

〒160-0003

東京都新宿区四谷本塩町 4-41 住友生命四谷ビル 6 階

TEL：03-5925-8660 FAX：03-3352-2021

E-mail：sports@am.sumitomolife.co.jp

【参考】2020年助成対象 一覧

チャレンジコース助成（21件 助成金額：966万円）

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
○		幼児からお年配の方まで楽しみながらスラックラインで体幹を鍛えよう！	特定非営利活動法人仙台スラックライン	宮城県 仙台市
○		山本地域スポーツクラブ発信！！パブルフェスティバルで盛り上がる！	山本地域スポーツクラブ	秋田県 山本郡 三種町
	○	発達障害のある若者のためのコミュニティスポーツ活動を通じたインクルージョンの促進	つくばユースMDC	茨城県 つくば市
○		家族と地域を繋ぐ！本庄/パバママキッズサッカー大会	特定非営利活動法人神流川スポーツクラブ	群馬県 藤岡市
○		with コロナ時代、スポーツ(ポッチャ)の力でコミュニティ創生	三鷹ウエストスポーツクラブ	東京都 三鷹市
○		いつもの公園で木登りしよう！ツリークライミング体験会	上高田台公園運営委員会	東京都 中野区
	○	障がいのある人が市民スポーツを楽しむ機会を創出する活動～自主化されたスポーツサークル活動の拠点づくり～	一般社団法人 輝水会	東京都 世田谷区
	○	都会におけるブラインド・サッカーを通じた視覚障害者と健常者のコミュニティづくり～健康増進からパラリンピックまで	特定非営利活動法人 スフィード	東京都 世田谷区
○		未病改善「森林浴&ウォーキング」	特定非営利活動法人 南えびなスポーツクラブ	神奈川県 海老名市
○		地域で繋がる楽しい暮らし「三世代で楽しむヨガ&ダンス」	ままりズムぱぱリズム	神奈川県 横浜市
○		「ウォーキングを広め、地域づくりにつなげる」プロジェクト	特定非営利活動法人 ユースポ	新潟県 南魚沼郡 湯沢町
○		地域で支えあうコロナに負けないスポーツプロジェクト	松本障害者スポーツ応援団	長野県 松本市
○		障害の有無なくスポーツで繋ぐコミュニティ	特定非営利活動法人 F-SPO	静岡県 富士市
	○	障害児と健常児の交流・インクルーシブフットサル教室での活動	一般社団法人 はーとプロジェクト	愛知県 江南市
○		からだを目一杯使おう！いろんなスポーツにチャレンジ～母と子の絆を深めよう～	一般社団法人 宇治市連合母子会	京都府 宇治市
	○	障がい児の豊かなスポーツライフを実現するためのスポーツ環境の提供事業	わくわくアダプテッド・スポーツクラブ	大阪府 泉南郡 熊取町
	○	視覚障害者と地域住民の交流のためのフラダンスプロジェクト	一般社団法人 ネクスト・イノベーション	兵庫県 明石市
	○	うちの子もやってみよう！～フットサルでどんな子でもスポーツを楽しむ場づくりプロジェクト～	任意団体 スキマ	兵庫県 神戸市
○		発達障がい児のサッカー大会「ジーニアス杯」～発達障害児と保護者を笑顔に！～	一般社団法人 日本発達支援サッカー協会	広島県 広島市
○		スポーツ鬼ごっこ推進プロジェクト	特定非営利活動法人 屋久島スポーツプロジェクト	鹿児島県 熊毛郡 屋久島町
○		島も私も元気に！健康チャレンジ100（いちまるまる）	きかい100スポーツクラブ	鹿児島県 大島郡 喜界町

アドバンスコース助成（3件 助成金額：885万円（2年間合計））

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
	○	義足使用者が日常的に楽しく走るための仕組み及びコミュニティ作り	特定非営利活動法人 ギソクの図書館	東京都 江東区
○		南伊勢町スケートボードパークとスケートボード教室の開設プロジェクト	みなみいせ元気ネット	三重県 度会郡 南伊勢町
	○	辺境四国からタンデム自転車の風を！！～四国初解禁障がい者の夢のせて	特定非営利活動法人 タンデム自転車NONちゃん倶楽部	愛媛県 松山市

第1種＜継続＞助成（7件 助成金額：350万円）

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
	○	スポーツでつながる障がいをもつ子供と家族が地域とつながるネットワークづくり	特定非営利活動法人 重度心身障がい児・者親子の会 スマイリーサン	東京都 北区
○		高齢者のための『転倒予防体操教室』の充実と拡大	特定非営利活動法人 神奈川県転倒予防医学研究会	神奈川県 横浜市
○		地域の公園を遊びと交流の拠点に～家族と地域で遊び尽くせ～	特定非営利活動法人 クラブぱっと	石川県 金沢市
○		みんなで富士山麓を清掃トレッキング！	富士山アウトドアミュージアム	山梨県 南都留郡 富士河口湖町
	○	移動に困難を抱える肢体不自由児の参加機会を増やす「遠隔ポッチャ」試合システム	特定非営利活動法人 ドロップレット・プロジェクト	長野県 千曲市
○		健康寿命延伸事業「健康スポレクひろばin住之江」	公益財団法人 大阪府レクリエーション協会	大阪府 大阪市
	○	「いつでも」「どこでも」踊っちゃおう！ウイズコロナのヒップホッププロジェクト	非営利活動任意団体 リトル・キッカーズ	香川県 高松市

第2種 ＜継続＞助成（2件、300万円）

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
○		北海道岩見沢市のスノースポーツ・コミュニティ再構築プロジェクト～北欧発祥の「ヒールフリー」のスキー・プログラムを活用して～	一般社団法人 SLDI	北海道 岩見沢市
○		スポーツを通して山の魅力を伝え継ぐ～山離れなんてもったいない！～	NPO法人 武尊根BASE	群馬県 利根郡 片品村

*第1種＜継続＞助成、第2種＜継続＞助成の助成種別はチャレンジコース、アドバンスコースとは異なります。